

1 題材名

『いも神様 青木昆陽』 <4年 社会科 歴史的分野>
～飢饉を救った さつまいも～

2 授業のねらい

- ①幕張地域の偉人である青木昆陽を取り上げ、さつまいもの栽培と幕張地域との関連を調べながら学習を進めます。
- ②なぜ青木昆陽がさつまいもを広めようとしたのかを、江戸時代の飢饉という出来事と、その飢饉をなんとか解決しようとする大岡忠相や徳川吉宗の熱意との関わりで考えていきます。
- ③青木昆陽の努力や工夫は、伝記「千葉の先人たち」で分かり易く理解できるように工夫します。

3 指導計画上の位置付け

- ◇4年社会科指導計画 4「千葉県の伝統や文化、先人のはたらき」と関連した学習です。
- ◇4年副読本「地域の発展につくした人たち」の選択学習に、追加した1時間の学習です。なお、地域によっては総合的学習の時間として位置づけることもできます。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①江戸時代の天保の飢饉の画像から、当時の最悪の食糧事情を読み取り、なぜこのようなことが起こったのかについて疑問を持ち、伝記「千葉の先人たち」という読み物資料から考えます。
- ②京成幕張駅前の「甘藷試作地の碑」や昆陽神社の写真から、青木昆陽とさつまいもの繋がりをとらえ、青木昆陽という人が幕張にさつまいもを広めたのを理解します。また、さつまいもを研究していた青木昆陽の人物像を、伝記「千葉市の先人たち」から理解します。
- ③さつまいもは栽培や調理しやすい食べ物で、飢饉の時にはとても適した食べ物であることを資料をもとに話し合います。また、子供たちのさつまいもについての日頃の印象も話し合います。
- ④徳川吉宗が昆陽にさつまいもの特徴を聞き、その栽培を命令する場面をロールプレイングで児童が行います。次に「千葉の先人たち」から、さつまいもの栽培場所やその方法を調べます。
- ⑤当初は農民がさつまいもを育てることに反対していたにもかかわらず、人々を飢饉から救うために粘り強くさつまいもの有効性を農民に説得する昆陽の努力や工夫を話し合います。
- ⑥青木昆陽のその後の生き方について、時間に応じて補足学習をします。

<活用する資料>

- ◎伝記「千葉の先人たち」 ◎江戸時代の飢饉の画像 ◎ロールプレイングの道具
- ◎京成幕張駅前の「甘藷試作地の碑」や昆陽神社の写真 ◎青木昆陽年表

5 指導上の留意点、その他

- ◇千葉市とかかわりが深い青木昆陽に対して、児童が身近に感じ、親しみを持てるような学習にしたいと思います。
- ◇人物の苦労や努力に焦点を当てるために、多くの小学校の図書室の蔵書として置かれている「千葉の先人たち」という伝記の読み物資料を活用します。
- ◇江戸時代の話なので、ロールプレイングで人物を登場させたり、「幕張」は昔「馬加」という地名だった話を紹介したりして、児童が興味関心を持てるような手だてを工夫します。